

整理番号	2018P-	184	補助事業者名	社会福祉法人妙高市社会福祉協議会
------	--------	-----	--------	------------------

別紙 JKA補助事業 平成30年度 事前計画/自己評価書(4/5)

5. 補助事業の自己評価

作成日	2018	年	10	月	9	日	作成者	丸山 崇之
-----	------	---	----	---	---	---	-----	-------

(a) 個別項目評価

●個別の評価項目について、事前計画/自己評価書(3/5①②) 4. 事前計画 に対する達成状況等を把握し、分析・評価してください。					
(1) 受益者 (ニース)	2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)			採点	
(2) 事業内容	移送車3 車椅子仕様(リフト式) ・メーカー名…日産自動車 ・車名…セレナ ・排気量…2000cc ・用途…デイサービスセンター朝日利用者の送迎、外出レクリエーション等に使用する。			採点	
事業の新規性または継続の必要性	2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)			採点	
事業の発展性	2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)			採点	
実施計画・体制	事業の完了時期は平成30年6月30日を予定していましたが、納車時期が遅れたことで平成30年9月7日となった。 補助対象経費総額は2,300,000円、補助金交付決定額は1,725,000円、自己負担金は575,000円。見積もり合わせの結果、事業費総額は3,056,188円となった。 実施体制については変更なし。			2	
(3) 達成目標	事業の実施結果	[達成値] 平成30年9月7日	[達成状況] 80%	[具体的内容] 平成30年6月30日を予定していたが、納車時期が遅れ、平成30年9月7日となった。	3
	事業の成果・波及	[達成値] 16名	[達成状況] 100%	[具体的内容] 車椅子の利用者2名を含む8名の利用者について、迎えと送りで延べ16名の送迎に導入車輛を活用した。	4
(4) 情報発信	事業の実施結果	[達成値] 1.平成30年10月に施設広報誌に掲載。 2.平成30年10月にホームページに掲載。	[達成状況] 1. 80% 2. 80%	[具体的内容] 1.平成30年10月、「JKA競輪補助事業完了のお知らせ」を施設広報誌「ここにこ新聞」に掲載。 2.平成30年10月、妙高市社会福祉協議会ホームページに「JKA競輪補助事業完了のお知らせ」を掲載する。	2
	競輪・オートレース補助金による事業であること	[達成値] 1.平成30年10月に施設広報誌に掲載。 2.平成30年10月にホームページに掲載。	[達成状況] 1. 80% 2. 80%	[具体的内容] 1.平成30年10月、「JKA競輪補助事業完了のお知らせ」を施設広報誌「ここにこ新聞」に掲載。 2.平成30年10月、妙高市社会福祉協議会ホームページに「JKA競輪補助事業完了のお知らせ」を掲載する。	2
(5) 自己評価の体制	平成30年10月 日、事務局長、管理者、主任介護職員、主任看護職員、生活相談員、運転員により、事前計画/自己評価を行い、評価結果を妙高市社会福祉協議会のホームページに掲載する。			3	

(b) 総合評価

総合評価点	3
-------	---

●(a) 個別項目の評価から実施状況等を振り返り、事業全体を評価してください。	
(1) 事前計画(2/5)記載の「補助事業の直接的な目的」を踏まえた、事業全体についての意見・所感	車両の納車時期は当初平成30年6月30日を予定していたが、平成30年9月7日までずれ込んだことで全体の事業計画は2ヶ月以上遅れが生じたが、納車後の車両の運行については、利用者から「静かで乗り心地がいい」「車椅子で乗車する時に頭を屈めなくて楽だ」と大変好評をいただいている。
(2) 優れている点・課題、改善すべき点	当初事業費総額としては3,740,854円を予定していたが、4社による見積り合わせを行った結果、総額を3,056,188円に抑えることが出来た。
(3) その他、アピールしたい点、是非知ってもらいたい点	デイサービス利用者の安全で快適な送迎のほか、外出行事等にも活用していくことで、利用者の楽しみや生きがいの創出にも補助車両を活かしていきたい。また、これら様々なシーンで車両を走行させることで競輪補助事業のPRに努めていきたい。

別紙 JKA補助事業 平成30年度 事前計画/自己評価書(5/5)

(c) 事業の促進・阻害要因の自己分析

- 事業の目標達成を促進した、あるいは阻害した要因について、「要因分類」(1)~(15)の「促進」または「阻害」欄に「\*」を記し、要因の内容を a 欄に、阻害要因への対応あるいは今後この分析結果をどう活かすかを b 欄に、それぞれの要因分類の番号(1)~(15)を付して、具体的にご記入ください。
- 促進または阻害要因が無い場合には、(16) の欄に「\*」を記してください。

事業の促進・阻害要因の自己分析					
	促進	阻害	要因分類	a. 促進または阻害要因の具体的な内容	b. 対応、今後この分析結果をどう活かすか。
内部要因	*		(1) 経費	(1) 当初事業費総額を4社による見積りあわせを行うことで、3,740,854円から3,056,188円に抑えることが出来た。  (4) 納車時期が遅れたため事業完了が予定より2ヶ月あまり遅くなった。	(4) 事業計画を策定する前に購入業者に出来るだけ詳細な納車時期を確認しておく必要がある。
			(2) 実施体制 (人員、関係機関の協力等の確保)		
			(3) 資材調達 (事業実施に必要な物資等の確保)		
		*	(4) 実施期間 (事業終了までに要する期間)		
			(5) 事業運営のノウハウ (進捗管理、資金管理等)		
			(6) 設計仕様の変更 (主に建築)		
			(7) その他		
外部要因			(8) 受益者の規模・ニーズ		
			(9) 実施体制以外の団体等の協力・支援		
			(10) 関連法制度の変更		
			(11) 利害関係者 (受益者以外)の要望への対応		
			(12) 災害の発生 (地震、洪水等)		
			(13) 同様の技術開発		
			(14) 競合するサービス・事業の出現		
			(15) その他		
		(16) 特になし			